

SDGsの取組みPR

記入日：令和3年1月25日

①タイトル	平仮名なぞりボードの製作
②関連する ゴール	 ターゲット4.6 指標4.6.1 (Tier. II)
③目的・概要	<p>大垣特別支援学校との協働事業「テクノコラボレーション」において、大垣工業高校電子機械科が課題研究を活用し、教材を開発した。 本活動は、上記SDGの達成に資する取り組みであると捉えている。</p>
④詳細	<p>【取組内容】 毎年、大垣特別支援と本校の協働事業「テクノコラボレーション」を実施している。テクノコラボレーションは、大垣特別支援学校から複数の教材提案を受け、その中から本校が製作可能な提案を抽出し、作品製作に取り組み、完成した作品を12月に開催する贈呈式及び交流会時に寄贈する行事である。 今年度、本校電子機械科飯沼光俊教諭が担当するパートが平仮名なぞりボードの製作を採択した(写真1)。なぞりボードとは、指や筆記用具でボード内の空間をなぞることで平仮名の形状を覚える器具である。 今年度、本校において有志教員によるSTEAM教育研究が進む中、積層造形技術学習環境(3Dプリンタ10台設置)が整備され、デザイン思考の5つのステップに沿いながら平仮名なぞりボードが製作された(写真2)。 大垣特別支援学校とのWeb会議システムを活用した試作評価会などを経て、ボードサイズや書き順を示す番号の追加した(写真3)。校内STEAM教育研究構成員からの助言により文字の交差部分の円滑化のアイデアを得た。</p> <p>【結果】 令和2年12月22日(火)、Web会議システムを活用した贈呈式・交流会を行った(作品は職員が事前に運搬)。大垣特別支援学校の生徒からは「使いやすい」との好評を得た。</p> <p>【まとめ】 今回の取り組みは、SDGs4「質の高い教育をみんなに」、ターゲット4.6「2030年までに、全ての若者及び大多数(男女ともに)の成人が、読み書き能力及び基本的計算能力を身に付けられるようにする。」の達成に資する取り組みであると捉えている。 今後は、3Dプリンタの印刷倍率を変更し、鉛筆でなぞり平仮名を学習するボードの製作を予定している。</p> <p>【連絡先】 岐阜県立大垣工業高等学校(0584-81-1280) 電子機械科課題研究担当：飯沼光俊</p>
⑤関連URL	大垣工業高校ホームページ https://school.gifu-net.ed.jp/ogaki-ths/
フリガナ	ギフケンリツオオガキコウギョウコウトウガッコウ
会員名	岐阜県立大垣工業高等学校



写真1 製作担当生徒



写真2 製作の様子



写真3 平仮名なぞりボード